

愛唱歌

2017年
年末スペシャル



生伴奏で歌いま専科

杜のホールはしもと

8F (多目的室)

12月20日(水)

10:30~15:30

(11:50~12:50 昼食休憩)

◇開場 9:50 ~入退場自由~

参加費: 1000円

~歌詞集を貸し出し致します《無料》~

(当日、直接会場へお越しください)

定員: 先着140名

キーボード 《伴奏》

(高橋 由香子)

ベース

(岡 民也)



《歌のリーダー》

(小泉 勝男)



フルート

(小宮里美)



《今後の予定》

◇愛唱歌

2月4日(日) 10:00~11:40

◇歌謡曲・演歌

3月9日(金) 13:00~15:00

☆10:30~11:50 「生伴奏で歌いま専科」午前の部

☆11:50~12:50 昼食休憩 (会場内で持ち込みでの飲食できます。)

お弁当の注文をお受けいたします。(ラ・テーブル特製弁当 650円) お申し込みは ☎042-761-6694 (神保)

☆12:50~13:50

スペシャルコーナー

お楽しみ抽選会

フラダンス (アロハ・フラ Nishimura)



☆13:50~15:30 「生伴奏で歌いま専科」午後の部

◇オープニング クリスマスソングメドレー

相模原市民文化財団

情報紙 MoVe

11月15日号に

掲載されます

《歌詞集掲載曲》 歌詞集の中からのリクエスト曲を皆さんと一緒に歌っていただきます。

青い山脈 あの素晴らしい愛をもう一度 いつでも君は 母さんの歌 学生時代 川の流れるように 北国の春 希望 五番街マリーナ 四季の歌 下町の太陽 時代 昂 青春時代 翼をください 長崎の鐘 ふるさと 有楽町で逢いましょう 忘れな草をあなたに わたしの城下町 憧れのハワイ航路 朧月夜 悲しくてやりきれない 切手のない贈り物 荒城の月 この広い野原いっぱい 湖畔の宿 知床旅情 瀬戸の花嫁 早春賦 旅人よ 月の沙漠 つぐない てんとう虫のサンバ 東京ラブソフィー 涙そうそう 花(春のうらら...) パラが咲いた 港が見える丘 山小舎の灯 朝はどこから あざみの歌 あめふり 五木の子守唄 梅干の歌 おさななじみ 想い出の渚 銀座の恋の物語 恋の季節 高校三年生 静かな湖畔 小さなスナック 茶摘み 月見草の花 手のひらを太陽に 夏の思い出 夏は来ぬ 野に咲く花のように 芭蕉布 花(川は流れて...) 浜辺の歌 故郷を離るる歌 牧場の朝 街の灯り 真っ赤な太陽 見上げてごらん夜の星を 湯の町エレジー 別れのブルース 赤い花 白い花 アカシアの雨が止むとき 異邦人 おまえに 秋桜(コスモス) サントルチア シクラメンのかほり 上海帰りのリル 小さい秋みつけた 遠い世界に 時の流れに身をまかせ 22歳の別れ 野菊 遥かな友へ 久しき昔 ビリーブ 星影のワルツ もしもピアノが弾けたなら 紅葉 旅愁 風 悲しき口笛 神田川 北上夜曲 北の宿から 銀色の道 心の窓に灯を 古城 さくら貝の歌 さざんかの宿 寒い朝 新雪 戦争を知らない子供たち 灯台守 トロイカ なごり雪 南国土佐を後にして 琵琶湖周航の歌 山のロザリア 雪の降る街を いい日旅立ち 祝い船 上を向いて歩こう 贈る言葉 女ひとり かえり船 さよならをするため 少年時代 白い花の咲く頃 世界は二人のために 誰か故郷を想わせる 涙くんさよなら 花のメルヘン 埴生の宿 真夜中のギター みかんの花咲く丘 椰子の実 山の煙 夜明けの歌 若者たち 愛燦々 青葉城恋歌 乾杯 今日の日はさようなら 高原列車は行く 故郷の人々(スワニー河) ここに幸あり 白いブランコ 人生いろいろ 惜別の歌 卒業写真 太陽がくれた季節 津軽海峡冬景色 花の首飾り 花の街 また逢う日まで 水色のワルツ 未来へ よろこびも悲しみも幾年月 リンゴの歌

＜お問い合わせ＞ 090-7235-6021 (高橋)
042-761-6694 (神保)



主催: アダージョ
「大沢みんみんの館(いえ)」運営団体